

令和3年度 学校経営計画

廿日市市立廿日市小学校
校長 光廣 敏樹

1 学校の状況

- 児童数 755名
- 学級数 26
通常学級数 23 特別支援学級数（自閉・情緒）1，（知的）2

2 学校教育目標

「ともに学び ともに伸びる ～しっかり考える・やりきる・思いやる～」

めざす学校像

- 授業を大切にする学校
- 元気な挨拶と笑顔があふれる学校
- いじめを許さない学校

めざす子ども像

- 自分の考えをもち，相手に分かるように表現する子
- 最後まであきらめず，責任もってやり切る子
- 思いやりがあり，人のために行動できる優しい子

めざす教職員像

- 授業力を高めたいと努力する教職員
- 明るい挨拶と笑顔が**いっぱい**の教職員
- 見過ごさない・見逃さない「感性」を備えた教職員

3 児童に付けたい力

思考力・表現力 主体性 自己有用感

4 研究主題

～ユニバーサル・デザインの考え方を生かした授業づくり～
（中学校区統一副題）

5 経営目標

| 中期経営目標 | 短期経営目標 | 目標達成のための方策 | 評価指標 |
|-----------------------|--|--|---|
| 基礎・基本の定着を図り、確かな学力をつける | 児童一人一人が「分かった」「できた」と実感する授業づくりを行い、自分の考えを相手に分かるように表現する力を付ける | 【小中共通項目】 ○基礎・基本の定着を図り、学習に困難を抱えた児童に対し、個に応じた手立てを行う。 ・自分の考えを持たせる手立てを工夫する。 ・言葉や表現を豊かにするために読書活動の充実 ・表現の仕方について個に応じた手立てを行い、支援する。 | 『授業が「分かった」「できた』『授業中、自分の考えを表現することができた』と回答した児童の割合 90% <児童アンケート> |
| | | | 全国学力・学習状況調査のB問題と標準学力調査の活用問題で60%以上正答した児童の割合 70% 【市共通項目】 |
| | | | 標準学力調査で60%未満の児童の割合 10% |
| | | | 読書冊数 目標高学年 55冊 55冊を達成した児童割合 95% |
| 積極的な生徒指導を行い、豊かな「心」を育む | 人の気持ちを考え、行動できる児童を育成する | 「廿小3つの自慢」の向上に向けて児童の主体的な活動を仕組む 「挨拶」「聞き上手」「身だしなみ」 自己肯定感、自己有用感を育てる学級の取組を仕組む 時間いっぱい自分の持ち場を丁寧に掃除する取組を仕組む。 | 各自慢がとても良くできていると回答した児童の割合 <児童アンケート> 65% |
| | | | 「クラスのみんなや学校の役に立った」と回答した児童の割合 85% <児童アンケート> |
| | | | 「児童は時間いっぱいもくもく掃除をしている」と回答した児童の割合 90% <児童アンケート> |
| 保護者・地域の信頼を高める | 「廿笑応援団」と学校の双方向の意欲が高まっている | ・総合的な学習の時間を中心に児童が地域で活躍できる場をつくる。 ・効果的な運営がなされるよう、調整会議で状況を把握する。 ・地域行事に参加するよう促す。 | 地域や家族の役に立ったと感じた児童の割合<児童アンケート> 85% |
| | 働き方改革を推進し、子どもと向き合う時間を確保する | ・業務の見直しを行う | 時間外勤務時間が月平均 45時間未満 の教職員の割合 60% <在校等時間記録> |

※ 廿日市中学校区で調整する。

6 取組の具体

■ 児童一人一人が「分かった」「できた」と実感できる授業をつくる

[授業力の向上]

- UDの考え方を生かした**算数科**の授業研究（視覚化・焦点化・共有化）
 - ・視覚化・焦点化・共有化を意識した授業研究
 - ・教材研究の質を高める（教科担任制の導入）
 - ・児童が**自分の考えを表現する**時間の充実を図る
- 「学年」を中心とした実践的な研修
 - ・アセスメント（つまずきの分析を行う）
 - ・学年で「**学びのルール**」が徹底できているか定期的に確認をする
- **電子黒板、タブレット（一人1台）の効果的な活用**
 - ・プログラミング研修、ICTスキルアップ研修の実施（タブレットの活用）
 - ・デジタル教科書（電子黒板）の効果的な活用
- 授業参観の実施
 - ・初任研示範授業を活用した学年の授業研究
 - ・小中相互授業参観（廿日市中や佐方小の校内研修に参加）
 - ・校内授業研 **4回**（低・中・高・特支）
- 新学習指導要領の確実な実施
 - ・「主体的・対話的で深い学び」
話し合い（一斉、ペア、グループ）による表現力アップ
 - ・スタートカリキュラムの実施（幼保小連携）
- **教科担任制の導入【6学年】（国語・算数・社会・外国語）**

[学びに向かう学級づくり]

- **「学びのルール」**の定着
 - ・年度当初に学習ルールの徹底を図る。
- 安心できるクラスづくり
 - ・**認め合える集団**としての学級づくりを進め、
間違いをばかにしない・・・間違えてもみんなが支えてくれる
誤答を大切にする
失敗を笑わない・・・安心して「分からない」と言える
何でも話せる・・・安心して自分の思いや考えが言える
- 学年で統一感のある学習環境
 - ・算数用語、既習事項、算数ルール

■ 豊かな「心」をはぐくむ

- **廿小「3つの自慢」**
 - ・「あいさつ」「聞き上手」「身だしなみ」の徹底

- 生徒指導実践指定校として、生徒指導の体制整備
 - ・ **未然防止並びに早期対応**において組織的な動きがとれるようにする
- **いじめは絶対に「許さない」**という学級風土をつくる
 - ・ 道徳の時間、児童朝会、学級会などの充実を図る
 - ・ 学校を「キラキラことば」でいっぱいにする
- 自分を振り返り、自己を見つめる活動
 - ・ 自分を振り返り、自分の思いを表現させる。**書く・話す**
- **読書活動の充実（めざせ55冊！）**
 - ・ たくさん読んで**豊かな心**を育み、**豊かな言葉・表現**を育てる。
 - ・ 「ふるさと学習」及び各教科で調べ学習を充実させる。（自然科学、歴史、産業等の図書の充実）
 - ・ **学校図書館の環境整備（赤い羽根共同募金プロジェクト）**
- 過程で評価し、本番でやりきらせる行事
 - ・ 運動会、学習発表会、野外活動、儀式など、自分の力を出し切って、やりきらせ、達成感・充実感を味わわせる。教師も児童と共に達成感を味わう。
- 係活動や委員会、クラブ活動において主体的な活動を促す
 - ・ 児童が自ら目標や計画を立て、主体的に活動するように仕向ける。
- **自己有用感や自己肯定感**を高める場の工夫
 - ・ 特別活動、**総合的な学習の時間等（ふるさと学習）**を充実させる。
- 掃除の仕方を徹底し、時間いっぱい自分の持ち場を**丁寧に集中して掃除**させる。（中学校と連携）

■ **保護者・地域の信頼を高める**

- **「甘笑応援団」**による学習支援
 - ・ 学習支援を進めることで、個別指導の充実を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを進める。
 - ・ 放課後学習会を実施し、家庭における学習習慣を付けさせる。
- 不祥事を起こさない明るい風通しのよい職場づくり
 - ・ **明るい挨拶と笑顔**があふれる職員室にする（「おはようございます」「ありがとうございます」「お願いします」など明るい声が飛び交う）
 - ・ 見過ごさない・見逃さない「感性」をもち、気付いたことは言い合える人間関係をつくる。
 - ・ 計画的な服務研修を実施するとともに、日々の様子から早期に危機を察知し、必要な働きかけを行う。
- 業務の工夫・改善を促進
 - ・ 効率的に業務を進め、業務の量を増やすのではなく、質を高める。
 - ・ 教職員一人一人が勤務時間に対する意識を高め、時間外勤務縮減に努める。
 - ・ **1カ月45時間未満の教職員の割合 60%**
 - ・ 日常の業務について、業務改善の視点をもって見直しを検討する。
- 児童のボランティア活動や地域行事への積極的な参加